



# Cisco UCS Director REST API の手順書

リリース 1.0  
2015 年 4 月に発行

Cisco Systems, Inc.  
[www.cisco.com](http://www.cisco.com)

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。  
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は次のシスコ Web サイトをご覧ください。  
[www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices)

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. シスコの商標の一覧は、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) でご確認いただけます。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2015, シスコシステムズ合同会社。All rights reserved.

## 目次

1	使用する前に .....	5
2	REST ツール .....	5
2.1	REST API ブラウザ .....	5
2.1.1	使用例 1: VM 概要の取得 .....	6
2.1.2	使用例 2: グループの作成 .....	7
2.1.3	サンプル Java コード .....	8
3	API の使用例 .....	10
3.1	管理 (Administration) .....	10
3.1.1	グループの作成 .....	10
3.1.2	グループのリスト化 .....	12
3.1.3	グループの変更 .....	12
3.1.4	グループの削除 .....	12
3.2	ワークフロー オーケストレーション .....	13
3.2.1	Service Request の利用 .....	13
3.2.2	VApp サービス リクエストの送信 .....	13
3.3	VM 管理 .....	13
3.3.1	VM の電源オン .....	13
3.3.2	VM の電源オフ .....	14
3.3.3	VM の再起動 .....	14
3.3.4	VM ディスクの作成とサイズ変更 .....	14
3.3.5	VMware VM ゲストのセットアップと VIX スクリプトの 実行 .....	15
3.3.6	VMware スナップショットの削除 .....	15
3.4	物理アカウントの管理 .....	16
3.4.1	物理アカウントの作成 .....	16
3.4.2	物理アカウントの削除 .....	16
3.4.3	アカウントのリスト化 .....	16
3.5	カタログの管理 .....	17
3.5.1	カタログ項目の作成 .....	17
3.5.2	カタログの詳細の取得 .....	17
3.5.3	カタログ項目の削除 .....	18
3.6	VDC の管理 .....	18
3.6.1	VDC のリスト化 .....	18
3.6.2	VDC の作成 .....	18
3.6.3	VDC のエクスポート .....	19
3.6.4	VDC のインポート .....	19
3.6.5	VDC の削除 .....	19

# Cisco UCS Director REST API の手順書

---

3.7	コンテナの管理 .....	20
3.7.1	サービス コンテナの取得 .....	20
3.7.2	カタログを使用したサービス コンテナの取得 .....	20
3.7.3	サービス コンテナの削除 .....	20

## 1 使用する前に

この手順書では、Cisco UCS Director が提供する REST サービスの要旨について説明しています。この手順書は、開発者が次のことを行うときに役立つことが期待されますが、それに限定されるものではありません。

- Cisco UCS Director で使用可能な REST 関連ツールのデモ。
- REST API を介したタスクのオーケストレーションの自動化。

## 2 REST ツール

デフォルトでは、Cisco UCS Director は適切な REST クライアントからの REST API 要求に応答できるようになっています。

Cisco UCS Director は、REST 開発に役立つ次のエンティティを提供します。

- REST API ブラウザ
- REST API SDK バンドル

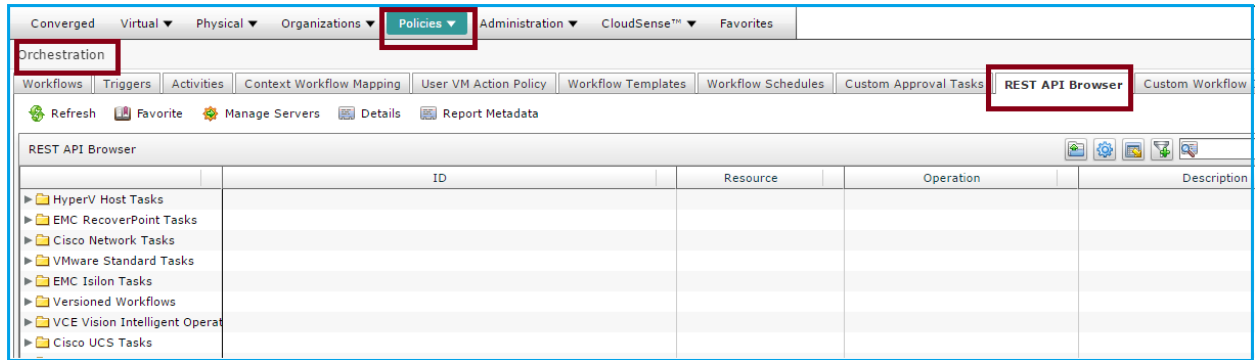
REST API SDK バンドルの詳細については、『[Cisco UCS Director REST API Developer Guide](#)』を参照してください。

### 2.1 REST API ブラウザ

Cisco UCS Director で使用可能な REST API ブラウザは、開発者および QA エンジニアがフレームワークに追加された REST API を検証するのに役立ちます。

管理者またはグループ管理ユーザが REST API ブラウザを起動できます。REST API ブラウザを起動するには、[ポリシー (Policies)] > [オーケストレーション (Orchestration)] > [REST API ブラウザ (REST API Browser)] を選択します。

# Cisco UCS Director REST API の手順書



REST API ブラウザは、データセンターのそれぞれのインフラストラクチャ コンポーネントを管理するために必要なタスクに基づいて API をグループ化します。

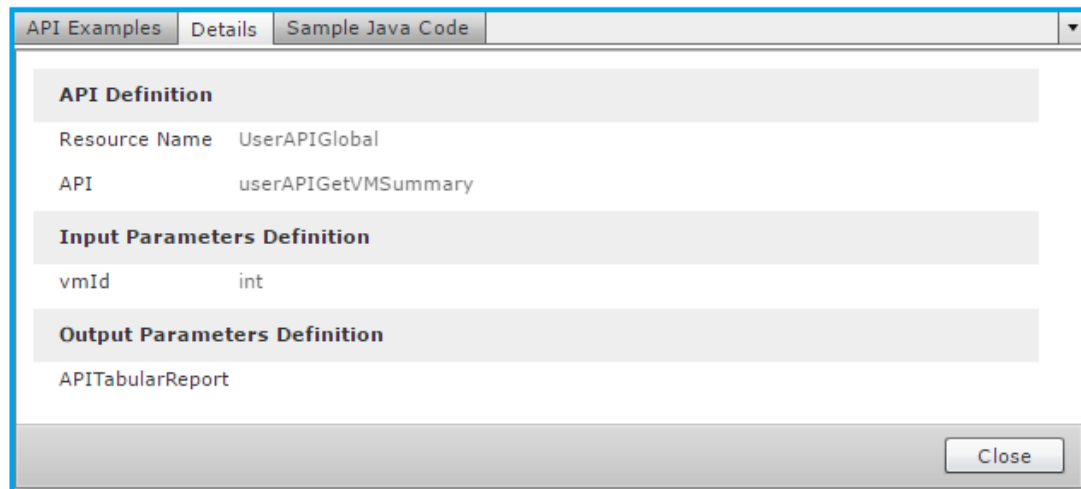
API を表示するには、タスクフォルダを展開し、それぞれの API のレポートをダブルクリックします。ブラウザでは、選択した API に関する次のタブが示されます。

- 1) [APIの例 (API Examples)]: ユーザによる選択用の入力が表示されます。開発者は、必要に応じて各 API に独自の情報を入力し、サンプル URL を生成できます。
- 2) [詳細 (Details)]: API のシンタックスおよびセマンティクスを定義します。
- 3) [サンプルJavaコード (Sample Java Code)]: API の使用を示す Java コード スニペット。

## 2.1.1 使用例 1: VM 概要の取得

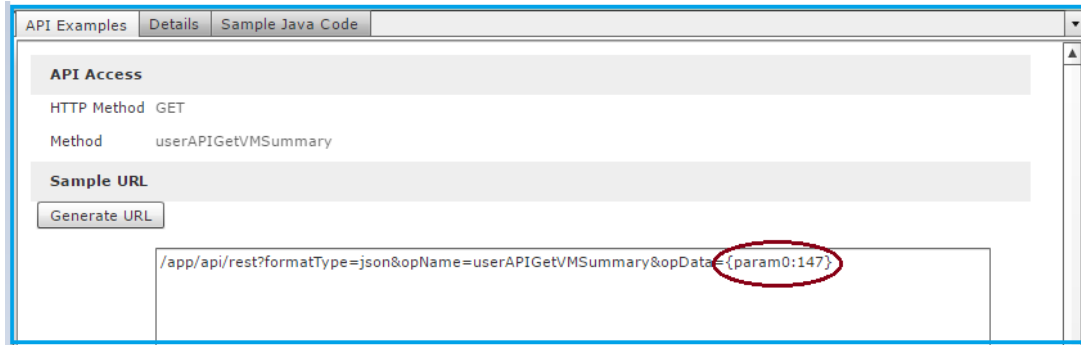
userAPIGetVMSummary API の定義を表示するには、[詳細 (Details)] タブをクリックします。

userAPIGetVMSummary API は、その入力として **vmId** を取得します。



# Cisco UCS Director REST API の手順書

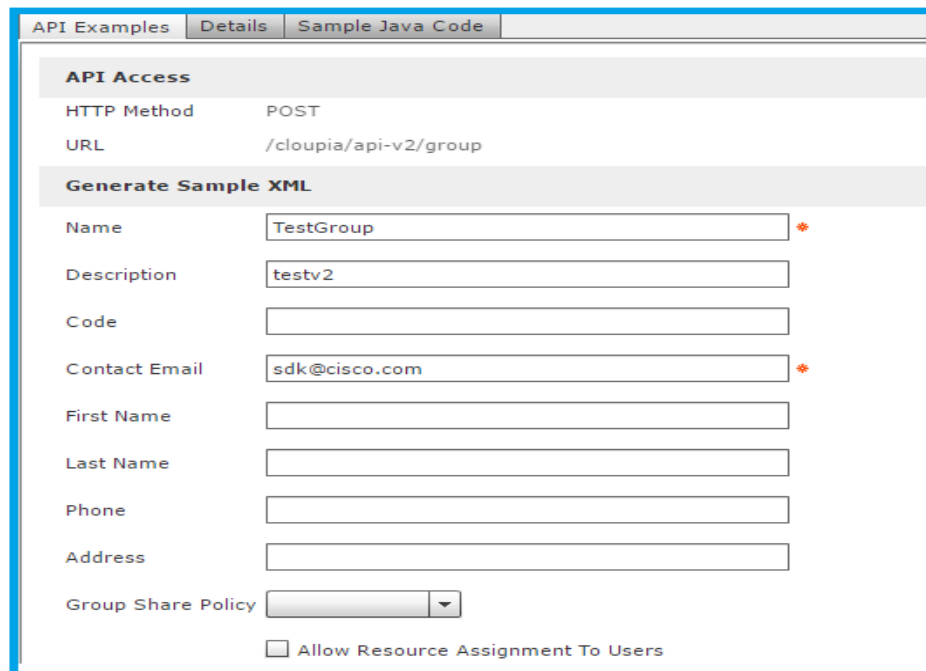
[APIの例(API Examples)] タブで、[URLの生成(Generate URL)] をクリックし、その REST 操作の URL を取得します。次のダイアログボックスに示すように、`vmlid` は `param0` として渡す必要があります。



[UCSDサーバ(UCSD Server)] ドロップダウンリストから、API がターゲットとなる Cisco UCS Director を選択し、応答に対し [REST APIの実行(Execute REST API)] をクリックします。

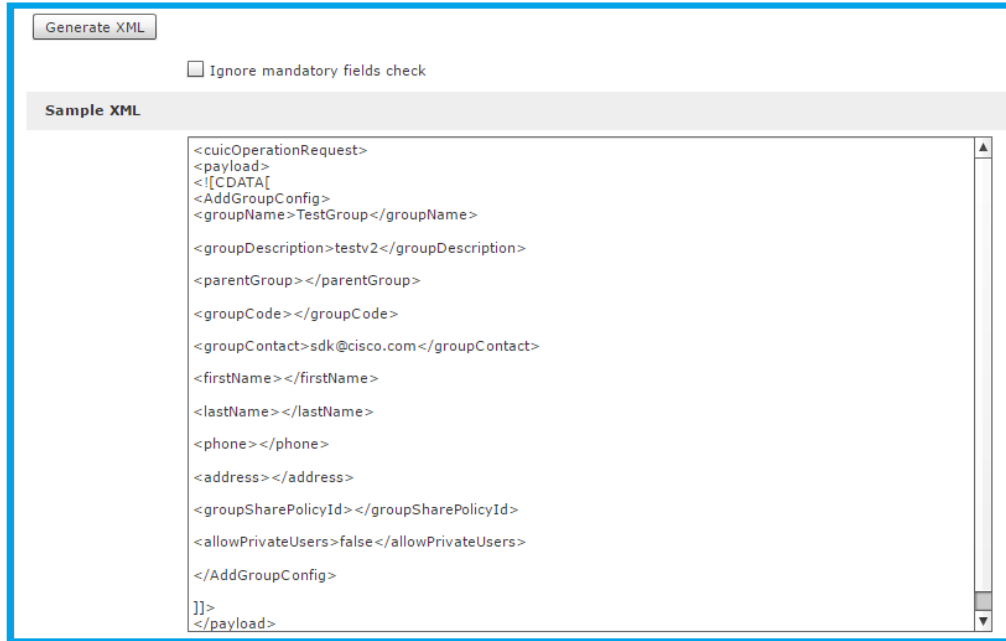
## 2.1.2 使用例 2: グループの作成

次の UI は、グループを作成するために示されたものです。

A screenshot of the Cisco UCS Director REST API interface showing the 'Generate Sample XML' form. The interface has three tabs: 'API Examples', 'Details', and 'Sample Java Code'. The 'API Examples' tab is active. Under 'API Access', the HTTP Method is 'POST' and the URL is '/cloupia/api-v2/group'. Under 'Generate Sample XML', there are several input fields: 'Name' (TestGroup), 'Description' (testv2), 'Code' (empty), 'Contact Email' (sdk@cisco.com), 'First Name' (empty), 'Last Name' (empty), 'Phone' (empty), 'Address' (empty), and 'Group Share Policy' (dropdown menu). There is also a checkbox for 'Allow Resource Assignment To Users' which is unchecked.

フィールドに情報を入力して [XMLの生成(Generate XML)] をクリックし、グループを作成するためのサンプルの XML ファイルを生成します。

# Cisco UCS Director REST API の手順書



[UCSDサーバ(UCSD Server)] ドロップダウンリストから、API がターゲットとなる Cisco UCS Director を選択し、応答に対し [REST APIの実行(Execute REST API)] をクリックします。

## 2.1.3 サンプル Java コード

[サンプルJavaコード(Sample Java Code)] タブには、コードによって管理サービスを自動するために使用できるコード スニペットが提示されます。



## Cisco UCS Director REST API の手順書

```
API Examples Details Sample Java Code
Sample Java Code
import java.util.Collection;
import java.util.List;
import java.util.HashMap;
import java.util.Map;

import com.cisco.cuic.api.client.CuicServer;
import com.cisco.cuic.api.client.UserAPIFencedContainer;

public static void main(String[] args) {

    /*
     * Fill-in the Cuic Server info.
     */
    CuicServer server =
        CuicServer.getAPI("<IP address>",
            "<REST Key>", "https", 443);

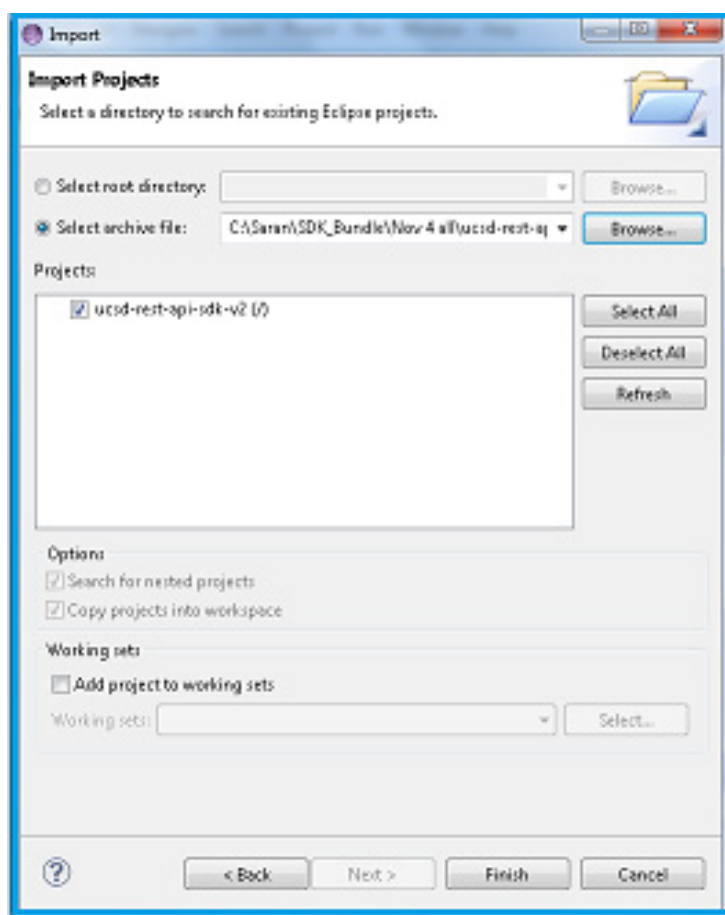
    UserAPIFencedContainer instance = new UserAPIFencedContainer(server);

    int obj = instance.userAPIGetContainerId( containerName );
}
```

コード スニペットは、各 API を実行するために使用できます。Eclipse でコードを実行し、出力を取得するには、SDK バンドルを Java プロジェクトとして Eclipse IDE にインポートする必要があります。

SDK バンドルをインポートするには、次の手順を実行します。

1. Eclipse IDE で、[ファイル (File)] > [新規 (New)] > [Javaプロジェクト (Java Project)] を選択します。  
[Javaプロジェクトの作成 (Create a Java Project)] ダイアログボックスが表示されます。
2. [プロジェクト名 (Project Name)] フィールドにプロジェクトの名前を入力します。
3. プロジェクトを右クリックして、[インポート (Import)] を選択します。
4. [インポート (Import)] ダイアログボックスで、[既存プロジェクトをワークスペースへ (Existing projects into Workspace)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
5. [参照 (Browse)] をクリックして、SDK バンドルを抽出したフォルダにナビゲートします。



6. [終了(Finish)] をクリックします。  
Eclipse IDE の [プロジェクトエクスプローラ(Project Explorer)] タブに SDK バンドルプロジェクトが表示されます。

## 3 API の使用例

ここでは、API 使用時のコード例を示します。各 API の詳細な説明については、『[Cisco UCS Director REST API Developer Guide](#)』を参照してください。

### 3.1 管理(Administration)

#### 3.1.1 グループの作成

次に示すように、グループを作成するための API はいくつかあります。

## Cisco UCS Director REST API の手順書

---

```
public class userAPICreateGroup {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APIGroup apiGroup = new APIGroup();
    apiGroup.setGroupId(1);
    apiGroup.setGroupName("TestGrp");
    apiGroup.setDescription("Testing sample");
    apiGroup.setParentGroupId(0);
    apiGroup.setParentGroupName("ABC");
    apiGroup.setEmailAddress("sdk@example.com");
    apiGroup.setLastName("l");
    apiGroup.setFirstName("f");
    apiGroup.setPhoneNumber("12345");
    apiGroup.setAddress("xyz");
    apiGroup.setGroupType(0);
    int obj = instance.userAPICreateGroup(apiGroup);
    System.out.println(obj);
    }
}
```

次に示す別の API のアプローチと使用例は、グループを作成するワークフロー タスクを実行した場合と同等です。

```
public class userAPIGroupcreate {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369
    F0FC64", "https", 443);

    AddGroupConfig instance = new AddGroupConfig(server);
    instance.setGroupName("testgroup");
    instance.setGroupDescription("testing");
    instance.setParentGroup("testparentgroup");
    instance.setGroupCode("1256");
    instance.setGroupContact("email@example.com");
    instance.setFirstName("abcd");
    instance.setLastName("dabc");
    instance.setPhone("1234");
    instance.setAddress("test");
    instance.setGroupSharePolicyId("abcd123");
    instance.setAllowPrivateUsers(false);
    AddGroupConfigResponse obj = instance.execute();
    }
}
```

Cisco UCS Director は、個々のワークフロー タスクの実行に API ラッパーを提供します。この項で示すように、同じジョブを行う複数の API が SDK バンドルで使用可能な場合があります。したがって、開発者は、前述のように、それらの API のいずれかを使用するものとします。

## 3.1.2 グループのリスト化

```
public class userAPIGetGroups {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APIGroup grp = new APIGroup();
    System.out.println("Group Id :" +grp.getGroupId());
    System.out.println("Group Name :" +grp.getGroupName());
    System.out.println("Description :" +grp.getDescription());
    System.out.println("Parent Group ID :"+
    +grp.getParentGroupId());
    System.out.println("Parent Group Name :"+
    +grp.getParentGroupName());
    System.out.println("Email Address :"+grp.getEmailAddress());
    System.out.println("Last Name :"+grp.getLastName());
    System.out.println("First Name :"+grp.getFirstName());
    System.out.println("Phone number :"+grp.getPhoneNumber());
    System.out.println("Address :"+ grp.getAddress());
    System.out.println("Group Type : "+ grp.getGroupType());
    List<APIGroup> obj = instance.userAPIGetGroups();
    System.out.println(grp);
    }
}
```

## 3.1.3 グループの変更

```
public class userAPIUpdateGroup {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APIGroup apiGroup = new APIGroup();
    apiGroup.setGroupName("G1");
    apiGroup.setEmailAddress("123@example.com");
    apiGroup.setDescription("update test");
    boolean obj = instance.userAPIUpdateGroup(apiGroup);
    System.out.println(obj);
    }
}
```

## 3.1.4 グループの削除

```
public class userAPIDeleteGroup {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369
    F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    boolean obj = instance.userAPIDeleteGroup(10);
    System.out.println(obj);
    }
}
```

## 3.2 ワークフローオーケストレーション

### 3.2.1 Service Request の利用

```
public class userAPISubmitServiceRequest{
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369
    F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    int obj = instance.userAPISubmitServiceRequest("vmware1",
    "vmware", 1, 1, 1, "test");
    System.out.println(obj);
    }
}
```

### 3.2.2 VApp サービスリクエストの送信

```
public class userAPISubmitVAppServiceRequest {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0F
    C64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APINameValueList list = new APINameValueList();
    APINameValue nv = new APINameValue();
    nv.setName("Name");
    nv.setValue("value");
    list.addNameValue(nv);
    int obj = instance.userAPISubmitVAppServiceRequest("CatAD",
list);
    }
}
```

## 3.3 VM 管理

### 3.3.1 VM の電源オン

```
public class userAPIExecuteVMAction {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F
    0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    String obj = instance.userAPIExecuteVMAction(1, "powerOn",
    "Testing");
    }
}
```

## 3.3.2 VM の電源オフ

```
public class userAPIExecuteVMAction {
public static void main(String[] args) throws Exception {

    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    String obj = instance.userAPIExecuteVMAction(1, "powerOff",
    "Testing");
    }
}
```

## 3.3.3 VM の再起動

```
public class userAPIExecuteVMAction {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    String obj = instance.userAPIExecuteVMAction(1, "Reboot",
    "Testing");
    }
}
```

## 3.3.4 VM ディスクの作成とサイズ変更

```
public class VMDiskcreateandresize{
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    CreateVMDisk instance = new CreateVMDisk(server);
    instance.setVmId(120);
    instance.setDiskSize("20");
    instance.setFromStoragePolicy(false);
    instance.setDiskType("Database");
    instance.setDatastoreName("Test123");
    instance.setThinProvision(false);
    instance.execute();

    System.out.println(""+instance.getDiskSize());
    System.out.println(""+instance.getVmId());
    System.out.println(""+instance.getDiskType());

    ResizeVMDisk instanceres = new ResizeVMDisk(server);
    instanceres.setVmId(instance.getVmId());
    instanceres.setVmDisk("tempappvm1");
    instanceres.setProvisionedDisk(instance.getDiskType());
    instanceres.setSize("40");
    instanceres.execute();}}
```

## 3.3.5 VMware VM ゲストのセットアップと VIX スクリプトの実行

```
public class vmwareguestandvix{
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
    FC64", "https", 443);

    GuestSetup instance = new GuestSetup(server);
    instance.setVmId(120);
    instance.setCredentialsOptions("Do not Share");
    instance.setUserId("admin");
    instance.setPassword("admin");
    GuestSetupResponse obj = instance.execute();

    System.out.println(""+instance.getUserId());
    System.out.println(""+instance.getVmId());
    System.out.println(""+instance.getPassword());

    ExecuteVIXScript instancevix = new ExecuteVIXScript(server);
    instancevix.setAccountName("cloud123");
    instancevix.setVmId(instance.getVmId());
    instancevix.setCredentialType("Login");
    instancevix.setLogin(instance.getUserId());
    instancevix.setPassword(instance.getPassword());
    instancevix.setScript("/bin/date");
    instancevix.setUndoScript("");
    instancevix.setUndoScriptTask(false);
    instancevix.setOutputDisplay(false);
    ExecuteVIXScriptResponse obj = instancevix.execute();}}
```

## 3.3.6 VMware スナップショットの削除

```
public class DeleteVMSnap{
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207","1A8DE698E2BF4C0B989476A369
    F0FC64", "https", 443);

    DeleteVMSnapshot instance = new DeleteVMSnapshot(server);
    instance.setVmId(168);
    instance.setSnapshotName("test");
    instance.setDeleteChild(false);
    DeleteVMSnapshotResponse obj = instance.execute();
    }
}
```

## 3.4 物理アカウントの管理

### 3.4.1 物理アカウントの作成

```
public class userAPIcreateInfraAccount {
public static void main(String[] args) throws Exception {
CuicServer server =
CuicServer.getAPI("192.0.2.187", "6C6416AD90704DF495A6B4D0A75A0BB1
", "https", 443);

UserAPIAccounts instance = new UserAPIAccounts(server);

//Example of UCSM Account

InfraAccountDetails infraAccountDetails = new
InfraAccountDetails();
    infraAccountDetails.setAccountName("AccName");
    infraAccountDetails.setPodName("PodName");
    infraAccountDetails.setAccountCategory(1);
    infraAccountDetails.setAccountType("11");
    infraAccountDetails.setProtocol("http");
    infraAccountDetails.setPort(80);
    infraAccountDetails.setDestinationIPAddress("1.2.3.4");
    infraAccountDetails.setLogin("abc");
    infraAccountDetails.setPassword("pswd");
boolean obj =
instance.userAPIcreateInfraAccount(infraAccountDetails);
System.out.println(obj);
    }
}
```

### 3.4.2 物理アカウントの削除

```
public class userAPIDeleteInfraAccount {
public static void main(String[] args) throws Exception {
CuicServer server =
CuicServer.getAPI("192.0.2.207", "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0
FC64", "https", 443);

UserAPIAccounts instance = new UserAPIAccounts(server);
boolean obj = instance.userAPIDeleteInfraAccount
("AccountName");
System.out.println("Is the Account deleted ? :" +obj);
    }
}
```

### 3.4.3 アカウントのリスト化

```
public class userAPIGetAllAccounts {
public static void main(String[] args) throws Exception {
CuicServer server =
CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
"1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

UserAPIAccounts instance = new UserAPIAccounts(server);
```



```
List<String> obj = instance.userAPIGetAllAccounts();
String[] strarray = new String[obj.size()];
obj.toArray(strarray);
String[] tmp = new String[strarray.length];
for (int i = 0; i < tmp.length; ++i) {
    tmp[i] = (String) strarray[i];
    System.out.println(tmp[i]);
}
}
}
```

## 3.5 カタログの管理

### 3.5.1 カタログ項目の作成

```
public class CreateCatalogItem {
    public static void main(String[] args) throws Exception {
        CuicServer server =
            CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
                "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

        UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);

        APICatalogItem item = new APICatalogItem();
        item.setCatalogItemId(20);
        item.setCatalogItemName("sample");
        item.setCatalogItemDescription("test");
        item.setCloudName("sample");
        item.setImageId("sample");
        item.setGroups("sample");
        item.setAppliedToAllGroups(true);
        item.setSupportEmail("sample");
        item.setVdcCategoryId(1000);
        int[] appList = null;
        appList[0]=1;
        appList[1]=1;
        item.setApplList(appList);
        item.setOtherApps("sample");
        item.setOtherOS("sample");
        boolean b = userAPICreateCatalogItem(item);
    }
}
```

### 3.5.2 カタログの詳細の取得

```
public class userAPIgetCatalogDetails {
    public static void main(String[] args) throws Exception {
        CuicServer server =
            CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
                "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

        UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
        APIProvisionParams obj = instance.userAPIGetCatalogDetails
            ("sample");
    }
}
```

## 3.5.3 カタログ項目の削除

```
public class userAPIDeleteCatalogItem {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    boolean obj = instance.userAPIDeleteCatalogItem("sample");
}
}
```

## 3.6 VDC の管理

### 3.6.1 VDC のリスト化

```
public class userAPIgetallVDCs {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APITabularReport obj = instance.userAPIGetAllVDCs();
}
}
```

### 3.6.2 VDC の作成

```
public class CreateVDC {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    APIVDCDetails vdcDetails = new APIVDCDetails();
    vdcDetails.setVdcName("sample");
    vdcDetails.setVdcDescription("sample");
    vdcDetails.setCloudName("sample");
    vdcDetails.setGroupName(1000);
    vdcDetails.setApprover1("sample");
    vdcDetails.setApprover2("sample");
    vdcDetails.setVdcSupportEmail("sample");
    vdcDetails.setVdcCustomerNoticationEmail("sample");
    vdcDetails.setSystemPolicy("sample");
    vdcDetails.setSlaPolicy("sample");
    vdcDetails.setComputingPolicy("sample");
    vdcDetails.setNetworkPolicy("sample");
    vdcDetails.setStoragePolicy("sample");
    vdcDetails.setCostModel("sample");
    vdcDetails.setLocked(true);
}
```

## Cisco UCS Director REST API の手順書

---

```
vdcDetails.setDeletable(true);
vdcDetails.setInactivityPeriodForDeletion(1000);
boolean obj = instance.userAPICreateVDC(vdcDetails);
    }
}
```

### 3.6.3 VDC のエクスポート

```
public class ExportVDC {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    String obj = instance.userAPIExportVDC("sample");
    }
}
```

### 3.6.4 VDC のインポート

```
public class importVDC {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIGlobal instance = new UserAPIGlobal(server);
    VDC obj = instance.userAPIImportVDC("sample");
    }
}
```

### 3.6.5 VDC の削除

```
public class DeleteVMSnap{
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);
    CreateVdc instance = new CreateVdc(server);
    instance.setNetdevice("test");
    instance.setVdcName("test123");
    instance.setModuleType("example");
    instance.setHaPolicy(false);
    instance.setHaPolicyType("Hefaultpolicy");
    instance.setHaPolicyAction("test1234");
    instance.setVdcNumber("123");
    instance.setPassword("sample");
    instance.setVdcTemplateName("VNIC template");
    instance.setVdcType("vmware");
    instance.setNetQosPolicy("QOSpolicy");
    instance.setCopyRunToStartConfig(false);
    CreateVdcResponse obj = instance.execute();
    }
}
```

## 3.7 コンテナの管理

### 3.7.1 サービスコンテナの取得

```
public class GetServiceContainerData {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);
    UserAPIFencedContainer instance = new
    UserAPIFencedContainer(server);
    ContainerDataObjects obj =
    instance.userAPIGetServiceContainerData(1000);
    }
}
```

### 3.7.2 カタログを使用したサービスコンテナの取得

```
public class CreateServiceContainer {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIIAPICContainer instance = new
    UserAPIIAPICContainer(server);
    int obj =
    instance.userAPICreateServiceContainerWithoutCatalog
    ("sample" , 1000 , "sample");
    }
}
```

### 3.7.3 サービスコンテナの削除

```
public class DeleteServiceContainerData {
public static void main(String[] args) throws Exception {
    CuicServer server =
    CuicServer.getAPI("192.0.2.207",
    "1A8DE698E2BF4C0B989476A369F0FC64", "https", 443);

    UserAPIFencedContainer instance = new
    UserAPIFencedContainer(server);
    int obj = instance.userAPIDeleteServiceContainer( 1000 );
    }
}
```